

蒲生地区公民館だより



新年明けましておめでとーございます

令和6年(2024年)の新しい年が、蒲生地区の皆様にとりましてよい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

コロナが昨年5月に5類に移行し、いろいろなことが少しずつ動き始めました。

公民館の行事も実施できることが増えてきました。例えば、毎月のミニ活動・プチ講座は関心を持っていただく方が増え、定着しつつあります。また、体育会と共催で行ったボッチャ大会は体育館に4コートを作り、大人数でのにぎやかな大会ができました。

ところで私事ですが、昨年末にリンゴを食べた後の小さな種を湿ったティッシュペーパーにおいていたら芽が出てきました。双葉から本葉へと成長してきたので今は小さな植木鉢で育てています。いささか大げさですが、小さな種の強い生命力を目の前で見、長かったコロナ禍生活からようやく開放されて、さあまた始めるのだという気持ちを強く持ちました。

今年辰年です。辰(龍)は想像上の生き物ですが、より高みを求めて昇っていくイメージがあります。

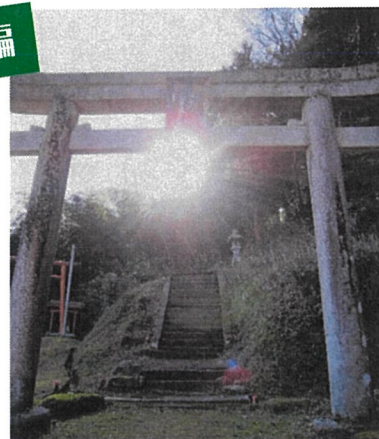


公民館活動も少しでもたくさんの方に参加していただけるよう、また参加してよかったと満足していただけるよう努力して上昇していきたいと考えています。本年もどうぞよろしく願っています。

公民館長 日下部衆理

漫歩で楽しむ蒲生地区その⑬ - ① 洗井編

洗井集落の「堂」と「護邑神社」と「稻荷さん」を訪ねてきました。昔から変わらず、集落一丸となって神社を守られていました。



最盛期は60軒もの大集落でした



ご神木に囲まれた本殿

洗井の県道を通るたびにいつも気になる建物があります。神社近くで屋根の上に火の見やぐら風の細長い小屋が特徴的な建物です。区長の平井高司さんに尋ねたところその建物は「堂」とよばれていることがわかりました。今月初旬、区長さんに堂と神社周辺を案内いただき、いろいろなお話も聞かせていただきました。

今月号では、まず堂の上手にある護邑神社を紹介します。

鳥居をくぐり参道を歩き始めると集落全体が見渡せます。長い石段やまっ直ぐ伸びた立派なご神木、大きなこもり堂もあり、境内は厳かで澄んだ空気に包まれていました。本殿には獅子と獏(バク)の見事な彫刻も見ることが出来ます。毎日のお参りと毎月の掃除は、昔から集落の氏子で守り続けられていると聞きました。また旧参道の苔におおわれている珍しい形をした灯籠が、この夏の作業で見ることができるようにもなっています。護邑神社の歴史をもっと知りたいと感じた一日でした。



千鳥破風、唐破風向拜の本殿



獅子と獏の彫刻



旧参道の灯籠

*神社の歴史:建武二年(1335)松上大明神分霊を迎え創建。天正年間の秀吉攻撃によって焼失されるも、元禄六年(1693)には小さな社を祀る。文政四年(1822)社殿を再建する。明治三十九年(1906)、銀山、横尾、蕪島、鳥越神社を合祀。大正二年(1913)「護邑神社」と改称した。

新年のご挨拶

自治会長 平井和憲

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は自治会活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年を振り返ってみますと、国外では、ウクライナとロシアの戦争、イスラエルとハマスの戦いなど、世界各地で戦争と紛争で尊い命が失われています。国内においては、高騰する物価、円安、そして国会議員による政治資金パーティーをめぐる裏金問題など、国の将来が危ぶまれる状況にあります。社会全体が不透明で不安定になっております。

このような中で、長らく社会活動を制約してきたコロナについて、明るい兆しが見えてきました。予防対策等の効果があらわれ、徐々ではありますが、落ち着いてきております。ただ、自治会としては、昨年、様子見の観点から、事業を縮小させていただきました。皆様のご懇親、ふれ合いの場である敬老会、運動会は、残念ながら中止とさせていただきます。

その一方で、わが地区が生んだ偉人田村虎蔵先生の生誕150周年を迎えておりましたので、自治会を中心に記念事業として、音楽祭を開催いたしました。地区内外から多数の方に来場をいただき、大盛会となりました。田村虎蔵先生の顕彰と地域の活気に寄与したところであります。皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

さて、迎えた令和6年は辰年ですが、辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく動き、成長する年だと言われています。

長引くコロナ禍で、事業を中止として参りましたが、改めて地域のふれ合いや絆の大切さを痛感しております。コロナが落ち着いてきましたので、辰年の気運にあやかり、中止事業を復活し、地区の活気を取り戻して参りたいと思います。

また、地域で暮らし続けるうえで、安全、安心が第一でございます。近年、異常気象等もあって、全国各地で自然災害が多発しております。山間地域で暮らす私たちにあって、自然災害のリスクは常に隣合わせにあります。窃盗・強盗も全国で多発しています。いやや都会に限ったことではありません。田舎でも当たり前前に起きています。詐欺においては、度重なる注意喚起にも関わらず増える一方です。これらに対処するには、行政機関等の支援が必要ですが、高齢者の多い当地区においては、やはり、住んでいる私達が隣近所、また地域全体で支えあい、助け合い、絆を強めることが大切です。そのことが安全、安心に繋がることとなります。自治会としてもそういう共助部分を先導支援していく必要があると考えております。

本年がより成果を上げることができよう、皆様とともに、自治会活動を行って参る所存であります。昨年と同様、引き続きのご指導とご鞭撻の程、心よりお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶と代えさせていただきます。



干支「辰」が完成しました

12月13日、本焼きを終えた干支の焼き物に各自が「目入れ」を行いました。生き生きとした表情に変わった辰に、ほっこり気分になりました。その後、餡入り餅づくりとサロンでまったりと会話を楽しみました。



サロンで楽集ネットも視聴

レスパイト入院ってなに?こんな入院の仕方もあること、知らなかったな~との感想がありました。

次回の楽集ネットは、
1月10日(水)午後3時からです。
「肺炎について」担当・永澤医師